

○ 本校の概要

本年度は、1学年2学級、2学年3学級、3学年3学級、生徒数250名(5月現在)の規模となった。また、みらい学園中等部(不登校特例校分教室)の3学級に19名の生徒が在籍している。本年度の重要課題は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて「言語活動」を一層充実させるとともに、学校ICT化を推進し「情報活用能力の育成」と「ICT活用指導力」の向上を図る。

【目指す学校像】

「生徒が目標をもち、自己の能力と創造性の伸長に努めるとともに、毎日明るく元気に登校できる学校」「家庭、地域の教育力を生かすとともに、保護者が安心して生徒を任せられる学校」「教職員が生徒一人一人を温かく見つけ、楽しく分かちやすい授業に生徒が目を輝かす学校」「秩序と潤いがあり、生徒相互が良き仲間として支え合い、競い合い、励まし合って健やかに成長できる学校」

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 評価, 人数, 学校関係者記入欄. Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます', '子供一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をばぐみまします', 'スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上と健康増進を図る意識の向上をめざします', '児童・生徒が安全・安心に学校生活を営むために、教員の指導力向上と良質な教育環境を育みます', '学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子供を育てる仕組みを作ります。'

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。